◎授業事後検討会記録用紙

第（　６　）学年「　てこのはたらき　」（西多賀小・栗原直弘教諭）

記録者（　南小泉小・新谷　真吾　）

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 内容 |
| 自　評 | 14:30～  ・　てこの道具に注目し，指導案を組み立てた。   * てこの規則性がどのように生活に生かされているか。 * 予想の場面で，子どもたちがよく頑張っていた。いろいろな考え方を出していた。 * 予想に時間を使ってしまい，実験時間を削った。丁寧な実験方法の説明をすれば，実験時間をもう少し削れたかもしれない。子どもたち同士で（考察を）話し合えればよかったが，時間が足りなかったので，全体での話し合いにした。 |
| 質疑・応答 | 質疑・応答については，時間の都合により割愛  ・　グループ討議の進め方の説明，視点に沿った成果と課題を挙げる。  ・　各グループ，ファシリテータの先生を中心に話し合いを進めてください。 |
| グループ討議 | 14:38～　グループ討議  15:13～　発表 |
| Ｉグループ | 視点１  〈成　果〉  ・　教材の工夫があってよかった。実験がしやすい教材の提示だった。  ・　数値化をしやすく，児童が感覚的に実験を進めることができた。  ・　児童があれだけ予想を書けるところがすばらしかった。  〈課　題〉  ・　問題文をもう少し分かりやすく。てこの原理ということで進められたのではないか。  ・　児童の学び合いという面では不足しているのではないか。全体をもう少し分かりやすく，話し合いが活性化したのではないか。  〈改善策〉  ・　時間があれば再実験をさせられた。  視点２  <成　果>  ・　色別シールが分かりやすかった。整数での数値化なので，子どもたちが捉えやすかった。  ・　力点，作用点などを子どもたちが自分の言葉として当たり前のように話しているところがすばらしい。 |
| Ｅグループ | 視点１  〈成　果〉  ・　視覚的，客観的にとらえることが容易であった。身近なものと関連づけて考えることができた。  〈課　題〉  ・　実験について考えるときに，「同じ」と「ちがう」にこだわっている子がおり，比較することが足りなかった。  視点２  〈成　果〉  ・　ワークシートがよかった。  ・　条件制御を意識しながらできた。  〈課　題〉  ・　６班分の結果を比較することができたが，比較する時間が少なかった。自分の班と他班との違いに気づいて振り返る時間が不足していた。  〈改善策〉  ・　発展的な内容ではあるが，１時間扱いとするか２時間扱いとするか。 |
| Ａグループ | 〈成　果〉  ・　本時に至るまでの学習過程が積み重ねられていた。  ・　身近な道具として裁断機を再現した自作教具がすばらしい。試行錯誤や熱意がとて  も伝わってきた。  ・　シールによる視覚化がよかった。  〈課　題〉  ・　時間の確保ができず，グループでの話し合いのさせ方に工夫ができたのではないか。  ・　支点と力点の距離，支点と作用点  ・　生活経験に戻す際，包丁で切るとき，切りにくいのはどこか，とても軽い力で切ることができるのはどこか，など考えさせてもよかったのではないか。 |
| 授業者より | * 問題文が分かりにくかったというご指摘がありましたが，前時ではさみを扱った際と同じ文章にしたほうが子どもたちに伝わりやすいと考えたため。 * 支点と作用点の距離についてはグラフ化よりは表の方が分かりやすいと思い，グラフ化をやめた。 * 予想させる時間をたくさんとったため，実験時間をとるのが |
| 指導・助言 | 小野寺先生   * 新指導要領に向けたすばらしい授業提案だった。 * 理科の有用性がとても低い。国語や算数に比べても低い。今回の授業では，仙台市の理科教育の研究内容として，理科のおもしろさを伝えるものだった。 * はさみ，道具の３種の仲間分け，と来ているので，本時の教具の提案の仕方に工夫できたのではないか。事象提示後，すぐに予想させられたかったのではないか。実験では，必ずミスや誤差が出るので，児童の見通しがしっかりできていれば，振り返りができる。実験結果がひと目でわかるのはすばらしい。あの下にてんびんを持って行って，子どもの知識，理解を広められたのではないかな。整理，分析，解釈，考察，最後の言葉は，児童の言葉でさせたかった。自分の軸をしっかり持つことがこれからの理科教育で大切とされていくのではないかと思います。 |